

## 1. 空港コンセッションと公共政策 2. 福岡空港の取組み

**日時：7月12日(火) 16:50-18:35 (5限)**

**国際学術総合研究棟4階SMBCHホール  
対面授業とオンラインでの受講の併用**

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、以下のお二人からお話を伺います。

### **1. 五十嵐徹人 国土交通省航空局航空ネットワーク部長**

航空ネットワークは、国内外の交流を支える「空のインフラ」— 空港は、航空会社や管制機関等とともに、その不可欠な担い手です。近年、空港においては、民間が能力を活かして運営するコンセッション方式が広まってきた一方、コロナ禍やカーボンニュートラルといった公共政策上の新たな課題が顕在化しています。

本講義では、空港コンセッションについて、沿革・制度・現状を概観するとともに、変化する公共政策との調和のあり方を考察します。

### **2. 永竿哲哉 福岡国際空港株式会社 代表取締役社長執行役員**

福岡空港の概要及び将来構想を説明するとともに、空港運営開始(2019年4月)以降に取り組んできた利用者の利便向上施策、2025年3月末予定の増設滑走路供用開始に向けた旅客ターミナルビル増改築等の取組みについて紹介し、コンセッションによる空港運営について考察を深めます。

※ オンライン授業URLはITC-LMS又はUTASで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

—問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット [ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp)—



国土交通省航空局  
航空ネットワーク部長  
**五十嵐 徹人 氏**



福岡国際空港株式会社  
取締役社長執行役員  
**永竿 哲哉 氏**